

令和5年度 インフルエンザ予防注射の予約について

今年度も、当クリニックを受診されているお子さんを対象に全て web 予約で行います。web 予約が不可能な方は、受付でご相談下さい。

尚、新型コロナウイルス感染症などの感染拡大防止の観点から、①予約時間の厳守、②付き添いは原則一人、を守ってお越してください。また、海外の接種方法や日本の種々の研究結果から、「過去にインフルエンザに罹った方」や「過去にワクチンを1回以上受けておられる方」では、インフルエンザワクチンの接種回数は1回と2回で差がないとの報告があることから、上記の条件を満たされる方は「1回接種」でも効果が期待できると思います。

【予約の方法】

- ① 当院のホームページにアクセスいただき、「うっ太郎(Uttaro)GENKI 手帳」から予約をお取りください。初めてご利用の方は、最初に「新規登録」をクリックし、メールアドレス等を登録しアカウントを取得後に予約を開始して下さい。うまく操作ができない場合は、システム操作サポート（ビープラスシステムズ、TEL; 050-1746-2760）までお問い合わせください。
- ② 接種期間は、令和5年10月14日～令和5年12月22日、この期間内の土曜日の午後となります。また若干名ですが、(月)(火)(水)(金)の午後4時の予約も可能です。
- ③ 土曜日の接種は、午後2時から開始します。都合により接種時間帯の変更や実施できない日もありますので、予約画面でご確認下さい。
- ④ 2回接種をご希望の方は、必ず1回目接種の予約と同時に2回目の接種日もお取り下さい。2回目の接種日が決めにくい場合でも、ワクチン確保の点から2回目の接種希望日を1日だけお取りください。2回目接種の候補日を複数選択することはできません。
- ⑤ ご兄弟など複数接種を希望される場合は、ご面倒ですが全員の予約をお願いします。
- ⑥ 診察券をお持ちの方だけの予約となります。

【注意事項】

1. 予約受付開始は、令和5年9月中旬からを予定しています。予約受付システムが完備できましたら予約を開始しますので、HPでのチェックをお願いします。
2. 1人でも多くのお子さんに接種したいと思いますので、大人の方はご遠慮下さい。
3. 2回接種を希望される方は、1回目接種後3～4週後を目安に2回目の予約をお取り下さい。
4. キャンセルまたは予約日時を変更される場合、web 予約システム（うっ太郎(Uttaro)GENKI 手帳）から手続きを行ってください。キャンセルのまま放置されますとワクチン確保はできませんのでご注意ください。
5. 接種日は、薬の処方や身体計測等はお断り致します。また接種予約時間はお守りください。
6. 接種当日は、必ず診察券と母子手帳をお持ちください。
7. 問診票は、受付に年齢別に設置しておりますので、ご自由にお持ち帰りください。またホームページからもダウンロードできます。
8. 接種費用は、全て1回3,500円(税込)です。

インフルエンザワクチン Q & A

1. 1回の接種で大丈夫でしょうか？

国の方針では、13歳以下のお子さんでは従来通りの2回接種を基本としています。ただ欧米では、今までにインフルエンザに罹ったことがある、過去にインフルエンザワクチンを接種している場合は、1回接種と2回接種で予防効果に差がないとされてきました。日本でも同様の研究が続いており、当院も参加している厚生労働科学研究の結果でも1回接種と2回接種で大きな差はないという結果が出ています。

以上の状況を考え、「今までにインフルエンザに罹ったことがある方」、「過去にインフルエンザワクチンを1回以上接種している方」には、インフルエンザワクチンの1回接種をお勧めしています。ただし、インフルエンザワクチンが初めてのお子さん、長年にわたってインフルエンザワクチンを接種されていない方、受験等でできるだけ予防したいという方は2回接種をお勧めします。

2. 2回接種の場合、接種の間隔は？

1回目から3~4週あけて2回目の接種をすることが基本です。しかし、早く接種を済ませたい場合などは、2週間の間隔でも問題ありません。また遅くとも1回目から6週以内に接種されることをお勧めします。

3. 何歳から接種可能？

接種可能な年齢は、生後6か月以降となっています。従来から1歳未満のお子さんの場合、接種されても十分な効果が得にくいとの報告もありますが、最近の研究では年長児と効果は変わらないとの報告もあります。保育園など集団生活をされている方は接種をお勧めします。

4. 「新型コロナウイルス」と「インフルエンザ」のワクチンについて

新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が可能ですが、当院では接種間違いや副反応の確認のため、別々の接種を行っています。

また、仮に新型コロナウイルスに罹ってしまった場合、インフルエンザワクチンの接種はおよそ1か月を空けて接種することが標準的ですが、新型コロナウイルス感染症時の症状の重篤度や周辺でのインフルエンザの流行状況によっては、罹患後早期に接種することも可能です。悩ましい場合は、当院スタッフにご相談ください。

5. 卵アレルギーなどがある場合は？

インフルエンザの予防注射は、その製造過程で卵の一部が使用されていますので、卵アレルギーのある方には注意が必要とされています。しかしながら、実際には問題になることが少ないと考えています。接種によるアレルギー反応を完全に予測することは困難ですが、卵に対して強いアレルギーのある方は、事前にご相談下さい。